



2024年度教育課程特例校の教育課程実施状況についての 児童・保護者・学校の評価(2024年度学校評価より抜粋)

○児童学校評価アンケート集計結果と考察

総評

「5.とてもそう思う」「4.どちらかと言うとそう思う」を合わせ、9割以上の児童が9つ中7つの項目でポジティブな評価をしていました。昨年は9つ中8つの項目で9割以上であったため、1項目下がる結果となりました。

来年度はすべての項目が9割以上となるよう、引き続き努力をして参りたいと存じます。

特に評価の高かった項目(95%以上)

○95%以上の高い評価だった項目

- ・「2. 探究以外の日本語でなされる授業中、学んでいることがよくわかり、学習することが楽しいですか。」の項目は96%の評価でした。こちらは昨年度と同様の結果でした。児童は、学びの基礎となる「にほんご」や「MIJ」の授業に積極的に参加し、内容の理解を深めながら、学びに対して楽しんで取り組んでいることがわかりました。
- ・「4. どちらの言語でも、探究の授業中、学んでいることがよくわかり、学習することが楽しいですか。」の項目につきましては、97%の児童が「はい。」と回答しており、昨年度の96%から1ポイント上がる結果となりました。探究をベースとする学校として大変うれしく思っております。こちらも引き続き、児童が探究を楽しめるよう授業を工夫し、継続して努力して参ります。
- ・「7. 学びに一生懸命取り組んでいますか。」は昨年度から引き続き98%の高評価で、児童が学びに真摯に取り組む様子が結果に反映されていました。次年度も引き続き、様々な疑問を持ち、それらを解決しながら、新たな学びの旅を続けてほしいと思います。

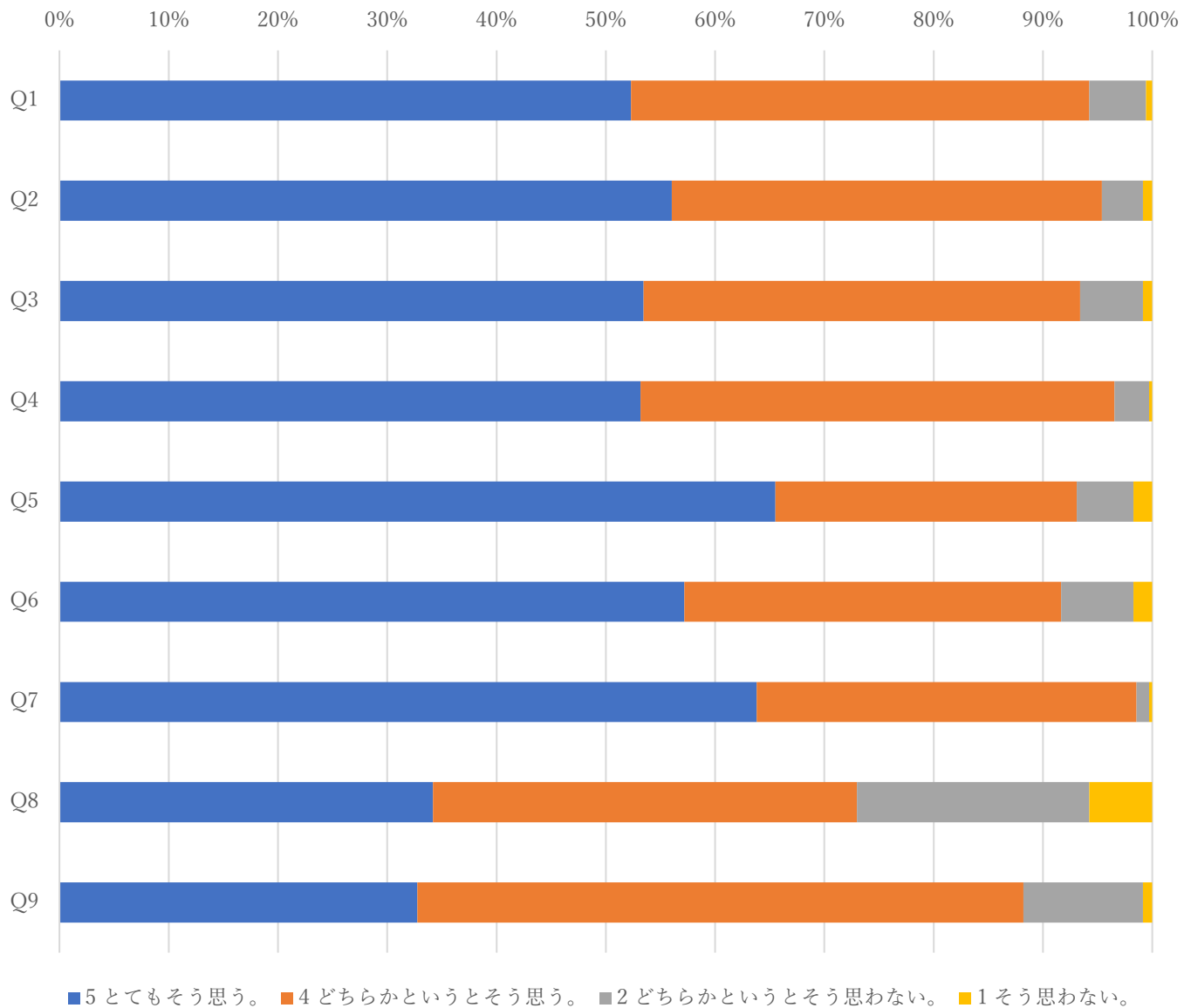
○昨年度95%以上でしたが、今年度95%以下だった項目

- ・「5. 先生は、探究の授業を工夫しながら教えてくれますか。」は昨年度96%の評価から本年度93%に下がっています。児童のAgency(Voice, Choice, Ownership)を高め、教科横断的に学びが進められるよう、次年度も教員研修を行うなどして研鑽していきたいと存じます。

8割未満の項目

- ・「17. 図書館へ行き、本を借りて読書を楽しんだり、学びに必要な資料を借りたりしますか。」は今年度73%でした。昨年度は76%、一昨年は79%、3年前は82%でしたので、3年連続でポイントを下げるという結果になっています。探究の学校ですので、授業時間での利用を増やすなど、書籍に触れる時間を確保したいと存じます。

2024年度 探究およびバイリンガル教育について（児童）



《参考：児童アンケート項目(学校評価より抜粋)》

1. 授業中、学校での学びがよくわかり、学習することが楽しいですか。
2. 探究以外の日本語でなされる授業中、学んでいることがよくわかり、学習することが楽しいですか。
3. 探究以外の英語でなされる授業中、学んでいることがよくわかり、学習することが楽しいですか。
4. どちらの言語でも、探究の授業中、学んでいることがよくわかり、学習することが楽しいですか。
5. 先生は、探究の授業を工夫しながら教えてくれますか。
6. 先生は、勉強をわかるまでしっかり教えてくれますか。
7. 学びに一生懸命取り組んでいますか。
8. 図書館へ行き、本を借りて読書を楽しんだり、学びに必要な資料を借りたりしますか。
9. 10のラーナープロファイルを意識して活動できましたか。

○保護者様学校評価アンケート集計結果と考察

総評

全部の項目で「5.とてもそう思う」「4.どちらかと言うとそう思う」を合わせ、9つ中、すべての項目で9割以上のポジティブな評価をいただきました。昨年は8つの項目が9割以上でしたので、今年度は1つ項目が増えたことになります。高評価をいただきましたことに感謝申し上げます。

引き続き、すべての項目で9割以上の評価をいただけるよう、継続して努力をして参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

特に評価の高かった項目（95%以上）

今年度 95%以上の高評価をいただいたのは、下記の項目です。

5. 学校はバイリンガル校として、日英両言語の学習環境に力を入れ、言語バランスの取れた児童を育てている。
6. 学校は、探究を通して、教え方の工夫をしながら独自の指導法により、子どもたちの学習意欲を育み、追究する力、認識する力など、未来を生きる考える力(Agency)を身につけさせている。
9. 学校は授業参観日など、学校公開の日を適切に設け、保護者が学校の様子がよくわかるようにしている。

今年度は、学習内容にかかわる項目(Q5, 6)において、95%を超える高い評価をいただきました。キリスト教をベースとし、IB を取り入れたバイリンガルでの学びは、大変ユニークであり、引き続き本校が力を入れていきたい項目です。様々な教科を横断しながら、児童の日々の生活に沿い、本物に触れる教育を、今後もしっかりと続けてまいりたいと存じます。

評価の高かった項目（90%以上）

1. 学校は異なった考えやものごとの違いを受け容れる幅広い心・やわらかい心を児童に育てている。

昨年度唯一9割に満たなかったのがこちらの項目で、89%の評価でしたが、今年度は5ポイント上がり、94%の評価をいただきました。引き続き児童一人ひとりの個性を互いに認め、その良さを学びの場に出し合い、協同/協働して課題に取り組む活用を通じ、幅広いやわらかい心を育てていきたいと考えております。その中心としてLerner Profileをさらに活用していきたいと存じます。

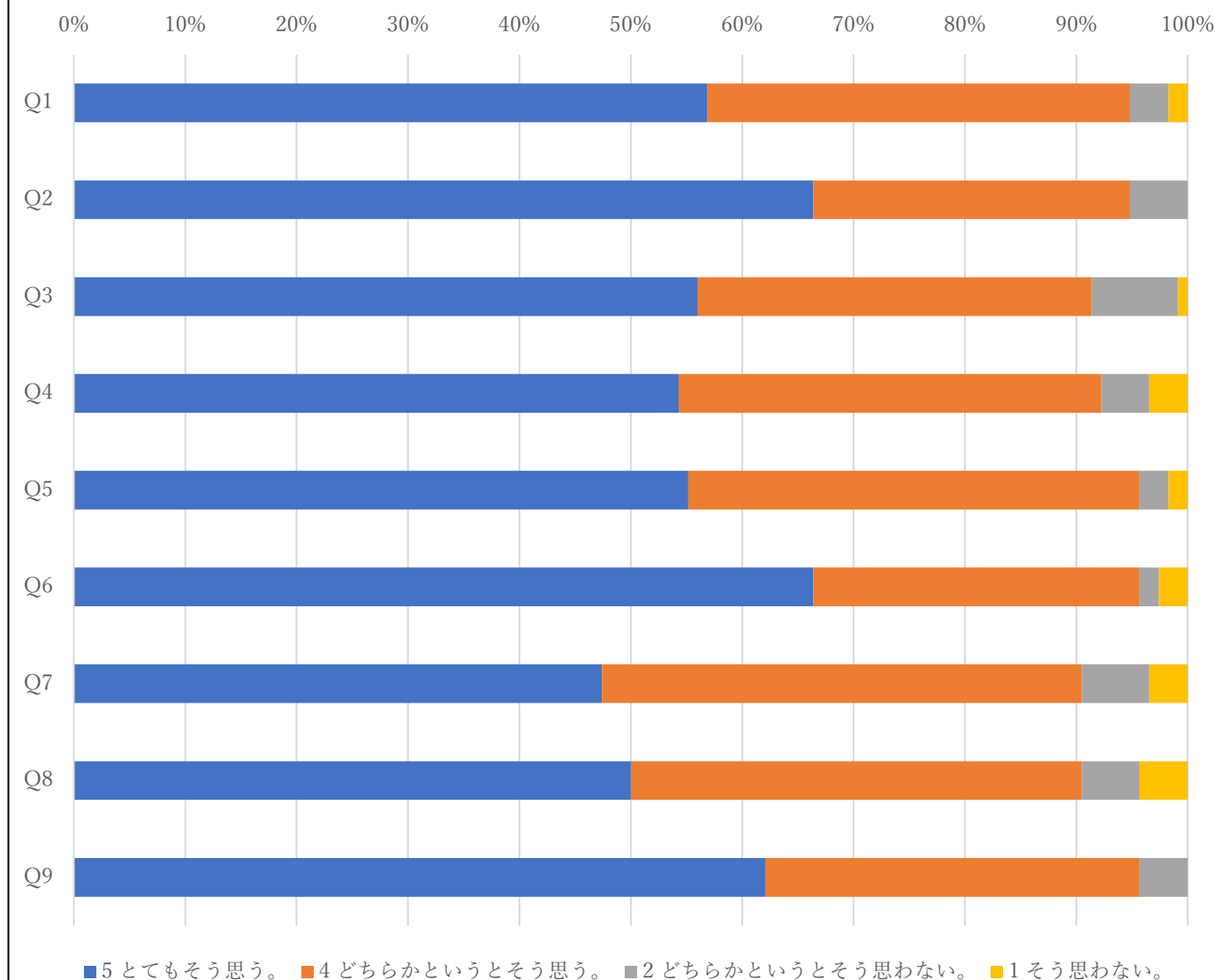
2. 同志社国際学院初等部は、伸びやかで生き生きとした雰囲気の感じられる学校である。

こちら、昨年度から 2 ポイント上がり、94%の評価をいただきました。新年度も、同志社の「良心教育」をベースに、「自主自律」の校風を引き継いでまいりたいと存じます

昨年度8割未満だった項目の今年度の評価について

- ・昨年度、唯一9割に満たなかったのが「1. 学校は異なった考えやものごとの違いを受け容れる幅広い心・やわらかい心を児童に育てている。」で、89%の評価でした。こちらは上述のとおり、今年度94%の評価をいただきました。皆様のご理解、ご支援に感謝申し上げます。

2024年度 探究およびバイリンガル教育について(保護者)



《参考：2022 年度保護者様アンケート項目(学校評価より抜粋)》

1. 学校は異なった考えやものごとの違いを受け容れる幅広い心・やわらかい心を児童に育んでいる。
2. 同志社国際学院初等部は、伸びやかで生き生きとした雰囲気を感じられる学校である。
3. 学校に行くのを、児童は心から楽しみにしている。
4. 学校は児童個々の様子をしっかりと見て、成長点や課題を伝えている。
5. 学校はバイリンガル校として、日英両言語の学習環境に力を入れ、言語バランスの取れた児童を育てている。
6. 学校は、探究を通して、教え方の工夫をしながら独自の指導法により、子どもたちの学習意欲を育み、追究する力、認識する力など、未来を生きる考える力(Agency)を身につけさせている。
7. 学校は、学年として身に着けるべき学習内容の定着に向け、丁寧な取り組みを行っている。
8. 学校は、保護者の思いをしっかりと受けとめ、子どもたちへの指導に生かしている。
9. 学校は授業参観日など、学校公開の日を適切に設け、保護者が学校の様子がよくわかるようにしている。